

保全技術研究会・記念講演会



- 日時・会場 平成30年11月22日(木) 10:30~16:45
 建築会館ホール 定員200名
 東京都港区芝5-26-20
- 参加無料 裏面の申込方法をご覧ください。 ※事前のお申し込みが必要です。
- プログラム

◇保全技術研究会 10:30~15:00

研究発表 10:40~12:00

- 「公共建築マネジメントの状況調査報告」 (一財)建築保全センター 第一研究部長 十河 修
 「ベンチマーク調査についてー自治体における貸館の実態調査報告ー」
 (一財)建築保全センター 第一研究部研究員 山下 光博
 「次世代公共建築研究会 リノベーション・コンバージョン部会報告」
 部会幹事 (大成建設(株)設計本部リニューアル設計室長) 東宮 英明

ー 昼休み ー

パネルディスカッション 13:00~15:00

「戦略的な公共建築マネジメントの取り組み 一個別施設計画の現状と課題ー」

【パネリスト】

- ・石田 淳 新潟市 財務部 財産活用課 主査
- ・今泉 良太 戸田市 財務部 資産経営室 副主幹
- ・池澤 龍三 (一財)建築保全センター 第三研究部次長
- ・小松 幸夫 早稲田大学理工学術院創造理工学研究科 建築学科教授
- ・山本 康友 首都大学東京 都市環境学部 客員教授

【コーディネーター】

- ・寺本 英治 (一財)建築保全センター 理事・保全技術研究所長

◇記念講演会(「建築のレガシー」シリーズ第3回) 15:15~16:45

「明治以降の公共建築の歩み」
 藤岡 洋保 東京工業大学名誉教授/工学博士/近代建築史

◆交流会 17:00~18:00 於 建築会館ホール ホワイエ 会費¥1,000(事前のお申込が必要です。)

主催:一般財団法人建築保全センター

- 後援: 国土交通省 全国知事会 全国市長会 全国町村会
 協賛: 一般社団法人 公共建築協会
 一般財団法人 建築コスト管理システム研究所
 一般社団法人 日本建設業連合会
 一般社団法人 日本建築学会
 公益社団法人 日本建築士会連合会
 一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会
 公益社団法人 日本ファシリティマネジメント協会



<会場案内図>

この保全技術研究会・記念講演会は「建築CPD情報提供制度」の認定プログラムです。
 また、「認定ファシリティマネジャー(CFMJ)資格者」の「更新講習B方式ポイント対象セミナー」に認定されています。

保全技術研究会・記念講演会の概要

◆保全技術研究会(PD)「戦略的な公共建築マネジメントの取り組み－個別施設計画の現状と課題－」

平成28年度末までに作成された公共施設等総合管理計画の次の段階は、個別施設計画の策定です。

この段階では、利用者への説明をはじめ、事業化に向けた施設の再編、改修、取り壊し等の具体的な判断を下すこととなり、現在、各自治体において苦労されている領域と考えられます。

このため、今年度は、個別施設計画策定に向けて、先進的に取り組まれている2つの自治体の事例について紹介させていただきます。パネルディスカッションの中において、これらの自治体の取り組まれている現状と課題について整理するとともに、今後の戦略的な公共建築マネジメントのあり方について、有識者の皆様の意見も踏まえ、議論を深めて参りたいと考えています。

◆記念講演会 「明治以降の公共建築の歩み」

「公共建築」は近代特有のものである。それは「国民国家」の成立にともなって、その円滑な運営のための行政機関の整備や国民の啓蒙を図ることが国家の重要課題になったことから必要になった。明治中期からの霞が関の官庁街の整備の過程で本格的な官庁建築が生まれ、建築家にとっても重要なテーマになった。明治大正期には営繕部門が官庁ごとにあったが、関東大震災復興事業を機に大蔵省営繕管財局がその中核を担うことになった。また、関東大震災復興に際しては、東京市の営繕組織が当時の日本の建築界をリードする建築をつくり出した。当時は、逓信省の吉田鐵郎や山田守のように、官庁営繕でも個人が際立つ例が見られたが、それは1960年代で終わり、重要なものの設計は民間に頼るようになった。公共建築は、社会が「公」に求める役割に応じて変わっていく。過去を振り返りながら、今後の公共建築のあり方を考える手がかりを提示したい。

保全技術研究会・記念講演会 参加申込方法

■ 申込方法

- ・当財団のホームページ(<https://www.bmmc.or.jp>)からお申し込みの場合
トップページの「業務のご案内」⇒「講演会・講習会」⇒「受講申込(ボタン)」の順にクリックすると、参加申込フォームが表示されます。必要事項を入力頂き「送信(ボタン)」をクリックしてください。
- ・FAXでお申し込みの場合
下記に記入し、FAX:03-3553-6767 してください。
定員になり次第締め切らせていただきます。
なお、本年も会終了後に交流会を企画しておりますので、奮ってご参加ください。
※お申込受け付けましたら ※当日「受講票」をご持参ください。
①ホームページの場合、「受講票」を送信します。
②FAX申込の場合、申込のE-mailアドレス宛、或いはFAX番号宛に「受講票」を送信します。

■ 問合せ先 (一財)建築保全センター 試験研修部 影山、押切 TEL:03-3553-0070

勤務先			
住所	〒(-)		
電話番号		F A X 番 号	
E-mailアドレス			
参加者氏名	所 属	参加区分(○で囲む)	
		・研究会・講演会・交流会	
		・研究会・講演会・交流会	
		・研究会・講演会・交流会	

■ 図書購入申込 (図書名①は「研究発表」の参考図書になります)

図書名	発行月	定価/税込	購入数
①公共建築のリノベーション・コンバージョン	H30/8	2,916円	冊
②2019年建築保全手帳(40周年記念クラックスケール付き)	H30/10	1,000円	冊

- 図書は保全技術研究会当日に受付にてお渡しします。なお、書籍申込は事前(11月19日締切)申込みになります(※注意)
- 図書のお申込みは、郵便振込(「青色」の振込取扱票:口座記号番号=00150-8-72152、加入者名=一般財団法人 建築保全センター)にて前日までに済ませてください。なお、「ご依頼人」欄には部署名・参加者代表者名を、「通信欄」には購入図書名・冊数をご記入ください。
- 図書は、当日書籍引渡しコーナーにてお渡しします。その際、「振替払込請求書兼受領証」を確認させていただきますのでご持参ください。